様式３（2010.09改）

作成日　平成　26年　10　月　22　日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376500357
事業所名	グループホーム輝楽苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	毎年、定期的にお相撲さんと保育園児との交流を利用者を交えてホームで行っている。利用者が月１回地域で開催している「御馬サロン」に通い楽しい時間を過ごしている。民生委員や介護支援専門員から、一人暮らしの人が日常生活の中で困っている事がある場合に職員が介護相談などを受ける機会が増えており、その中でホームにいつでもボランティアとして受け入れしている人もいる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は年６回開催している。介護保険制度の事、外部評価結果の報告など行い意見交換を行い、利用者も会議に出席して意見を聞いている。９月の会議の中で防災訓練を行い参加者より意見を貰って、今後の訓練に反映させるようにしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	役所に利用者の介護保険更新申請の手続きに行っている。また、利用者に関係する事で疑問に思う時は、役所の担当者に相談している。市主催の地域包括システム説明会、防災研修などに職員は参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族からは、ホーム来訪時やケアプラン作成時に要望や意見を聞いたり、家族交流会も年１回行っている。また、毎月ホーム便りも発行している。事業所の意見箱を鍵付きで大きく見やすいように工夫したり、家族から職員の接遇に関するアンケートを実施しており、家族の意見が貰えるように努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目２、３、４については１つ以上、外部評価項目６については２つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。